

古民家と ともに生きる、 暮らし。

Restaurant & Café レストラン／カフェ
Shop & Community Space 商店／コミュニティスペース
Hotel 宿泊施設



贅を尽くした別荘物件の 佇まいを静かに感じる場所

結城市 | 御料理屋kokyu.  MAP 01

かつて城下町として栄えた結城市の北部市街地には、今なお古い町並みが残り、味噌蔵、酒蔵、紬や呉服問屋をはじめとした古民家や蔵が点在している。空き家となってしまった古民家も多い中、行政や市民、ボランティア団体の協力により、新たな価値を持った古民家が生まれている。

結城市北部市街地の一面に、昭和元年に建てられた物件がある。木造建築だが、成人男性の身長ほどもある石の壁に家が乗っている珍しい構造が特徴。

オーナーの北條恭司さんは結城市出身。日本各地で料理の修行をしていたが、地元で開業するため結城に戻って来た。店舗の物件探しは難航したが、大工を営む地元の親戚に相談したところ、知り合いづてに現在の物件を紹介され改修工事がスタート。

**独特な構造の物件を、
特徴を残しながらリノベーション**

棟梁主導の工事により、水回りや調理場などを整備しつつ

も建物内外の特徴は残されていった。北條さん自身にも「独自の空間に仕立てるより、物件の特徴を活かして雰囲気や料理を作りたい」という想いがあったそうだ。


資金融資やロゴ・Webサイトのデザインなども、地元で相談できる人たちと繋がれたことは心強かったとのこと。

お客様は、結城市近隣の方や細関係の方、母と娘と一緒に来る方も多いそうだ。地域団体と連携し、音楽ライブの会場として使われることもあるが、結城を盛り上げようという気負いではなく、今あるものを最大限生かすという想いで、北條さんはkokyu.を営んでいる。



1_建物を囲む木々は、オープン以来の成長で深さを増している／2_玄関部分は、リノベーションの際に増設された／3_御料理屋kokyu.を営む、北條さんご夫妻／4_野菜そのものの美味しさと美しさを活かしたお料理が魅力の一つ／5_静かな時間をじっくり過ごせるよう、空間に余裕を持った席数／6_建物の前に枝が迫るカシノキ。その隣にはカヤノキが生え、それらの木々は店名の由来にもなった




日立市  MAP 03

Cafe.Cream

かつて駄菓子屋だった築約85年の店舗を活用したシェアスペース「かどや」にて営業。かどや内にはパン屋やオフィスが入居し、イベントなども開催される。



那珂市  MAP 04

元屋敷

築約100年の民家を活用した飲食店で、和風庭園を眺めながら食事ができる。同敷地内の築150年の蔵には、地元画家の水墨画展示ギャラリーも併設。



熱血教師が目指した 時間を忘れて 過ごせる場所

水戸市 | ノラズ・カフェ

MAP 02

茨城県の県庁所在地、水戸市のJR水戸駅周辺は、ビルや店舗が立ち並び、車や人々が絶え間なく行き交う。しかし、そこからバスに乗っておよそ10分離れた場所にある緑町は、史跡や博物館があり、緑地も多い静かな街。その一画には、昭和の素朴な民家を改装したカフェがある。

内装も什器も考え抜いた、 平屋の一軒家

駅前の喧噪から離れた街の一角にある飲食店、ノラズ・カフェ。

元は、オーナー高瀬哲夫さんの祖父が住んでいた家で、戦後すぐに建てられた築およそ70年の建物。店舗機能を持った見世蔵や、作業場を兼ねた農家の家とは違い、現代の民家に近い構造の建物だ。

高瀬さんは、以前は教え子たちからも慕われる熱血教師。しかし、教員免許の更新のタイミングで早期退職し、料理の道に進むため調理師学校に入学。同時に、古民家を店舗に

改装するため、京都の町屋を利用したカフェにも何度も足を運び研究した。

店舗づくりで高瀬さんが目指したのは、時間を忘れて過ごせる空間。改装は工務店と密に相談しながら、間取りや外構だけでなく、テーブル、椅子、ランプシェードに至るまで考えぬきながら計画を進めた。工事も「安く仕上げた後悔したくないし、お金がかかってもしっかり働いて返せばいい」と思いながら進めていたそうだ。

ここで過ごすお客様は、オープンと同時に来店して17時頃に「もうこんな時間だったんですね！」と慌てて帰っていく方もいるという。他にも、グルー

プで楽しむ方、一人の時間をじっくりと過ごす方など様々。時には高瀬さんの元教え子たちも顔を出し、食事を楽しみながら話に花を咲かせるそうだ。



1_気軽にお茶や食事を楽しめる席の他、個室にも対応している / 2_民家ならではの小さな玄関から入り、土足のまま店内に上がることができる / 3_四季ごとの表情が見せる木々が店舗を囲む / 4_木々の表情が見える窓際の席では、一人の時間も楽しめる / 5_調理場の見えるカウンター席には、高瀬さんとの会話を楽しみに来る方もいるとか



行方市

MAP 05

八甲城

築約40年の古民家を改装した、平成30年にオープンしたばかりの予約制農家レストラン。名称は、敷地内に「八甲城」の城跡があることからつけられた。



つくば市

MAP 06

藤右エ門栄

築約190年の茅葺屋根の民家を活用したイタリアンレストラン。梁や大黒柱の存在感と、長い時間が生んだ建物の自然な歪みを活かして設計された。

大子町の山間部では観光が盛んな一方、JR常陸大子駅前の商店街では、古民家や空き家を活用する動きがある。そこで生まれた場所の一つが、築およそ120年の見世蔵を利用した漆工芸品ギャラリー「大子漆八溝塗 器而庵」だ。

この物件は、最初は呉服屋の見世蔵として建てられた後、交流スペースや喫茶店としても運用されてきた。そこを引継ぎ、有限会社ウェアウッドワーク代表の辻徹さんが2010年にギャラリーとしてオープン。

辻さんの仕事は主に、木工や漆工芸品の制作。その中でも、大子周辺で採れた漆で作る、普段使いの漆器を扱うブランドが「器而庵」。ギャラリー

は、高品質な大子の漆にもっと親んでもらいたいという辻さんの思いから生まれた場所だ。

街で受け継がれてきた 見世蔵をギャラリーとして活用

大子漆八溝塗 器而庵は築100年を超える物件だが、大家さんたちがメンテナンスを行っていたため、辻さんが借りた以降、屋根や壁など改修要らずだそう。蔵造りであるため断熱効果も高い。

ギャラリーや工房として使われる以外に、辻さん主催のワインバーやお茶会などのイベントなども開催している。古民家の魅力に惹かれてやってくる人もいるそうだ。

1_建物は堅牢に作られ、東日本大震災や台風の際も大きな被害は無かったという／2_運営する辻さん／3_漆器を展示する仕器も、建物の雰囲気に合わせてセレクト／4_建物の一画にある茶室は、辻さんが新たに増設した場所／5_器而庵には、「大子漆を100年先の未来に伝える」という思いが込められている／6_同じ商店街の中に、大子漆の新たな発信拠点も準備中



日本一の漆と 漆工芸品に 会う場所

大子町 | 大子漆八溝塗 器而庵

MAP 07

茨城県の最北端にあり、山に囲まれた大子町。森林が面積の約8割を占め、豊かな自然を生かした農業や観光業が盛んだ。しかし、意外と知られていないのが大子漆。この地域で採れる漆の質は、日本一ともされている。そんな漆に親しむきっかけとなる場所が、大子町の駅前商店街にある。



ひたちなか市 MAP 09

布笑布(ふふふ)

生活雑貨を販売する築約70年の民家兼店舗の物件を改装し、和着物の古着店としてオープン。作家の作品展、貸しギャラリー、着物の手習い塾も行う。



つくば市 MAP 10

Shingoster LIVING

つくば市の大通りから脇道に進むと現れる、築約70年の土壁の木造蔵を改装したギャラリーショップ。隣接する飲食店舗の、現代的な造形との対比も特徴的。

想いを 持ち寄って作った 居心地の良い場所

石岡市 | ブックカフェえんじゅ

MAP 08

つくば市から北東に山を一つ越えたところにある、石岡市の八郷地区。山の麓には今も茅葺屋根の古民家が点在し、その中の一つに、築約70年の古民家を活用したブックカフェがある。地域の人も移住者もこの場所に集い、美味しい珈琲とおしゃべりを通して新たなつながりが生まれている。



米作りや養蚕を営む農家が多かった地域にあり、修行中の茅葺職人が住んでいたこともある古民家ブックカフェえんじゅ。ここは、八郷の山々で採れた木材をふんだんに使って建てられた家だ。

面白がってくれる人たちと、 みんなが集える場所を作る

空き家だったこの家を生まれ変わらせたのは、オーナーの木崎早苗さんをはじめ、この家を面白がってくれた友人、知人。みんなで集まっての掃除や、大工仕事が得意なご近所さんの手入れにより、眠っていた家が徐々に息を吹き返した。挽きたての豆で美味しい

珈琲を入れてくれる野村さんは、八郷のことなら何でも知っている優れたガイドでもある。

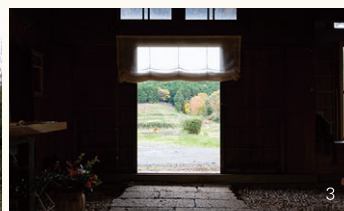
えんじゅには、八郷や近隣地域を中心に多様な人々が集まる。たとえば、陶芸や木彫、漆などの作家さんや職人さん、大学の先生に、子育て中の若いお母さん。八郷への移住者が「えんじゅに行けば誰かとつながれる」と訪ねて来てくれることも多く、地域の案内所のような役割も果たしている。

さらに、ヨガ教室や撮影会、講演会、地域の子育てサークルのイベントなど様々な用途にも使われ、木崎さん自身も「お母さんのための国語の会」を主催。いろいろな分野の専門

家を招いた「えんじゅトークサロン」も企画中だ。

様々な人が集い、想いをもち寄る、ブックカフェえんじゅ。木崎さんは、心地よく過ごせる場所づくりを、仲間とともに楽しんでいる。

1_使わなくなった家具を持ち込んでくつろげる空間に/2_現在は覆われているが、瓦の下には茅葺の屋根がある/3_外には八郷の自然が広がる/4_本棚には木崎さんの選書が。「この空間に合っている本」をセレクト/5_オーナーの木崎さん(右)と、えんじゅでコーヒーを淹れてくれる野村さん(左)



結城市 MAP 11

Coworking & Café yuinowa

結城市の旧市街地にある、築90年の呉服問屋を活用。コワーキングスペース、シェアオフィス、シェアキッチン機能があり、運営は主に地域団体が行う。



古河市 MAP 12

古河のお休み処 坂長

江戸初期から約400年以上続いた古河を代表する商家の建物を改修した複合施設。5つの蔵があり、ギャラリー、店舗、レンタルスペース、お休み処として機能。

水郷の街に生まれた 新たな観光と交流の拠点

潮来市 | 水郷旧家磯山邸  MAP 13

茨城県の南東部にある潮来市は、霞ヶ浦、北浦、常陸利根川に囲まれた水郷の街。市内を流れる前川のほとりの水郷潮来あやめ園を含め、年間182万人もの観光客が訪れる。そんな街に溶け込むように佇む築120年の古民家の宿。この宿は、潮来の人々の熱意と協力によって作られ、支えられている。



1_磯山邸の立地は前川のほど近く。川沿いを散策しながら、あやめ園にも足を延ばせる／2_各部屋の引き戸にあしらわれた精密な組子細工は、思わず間近で見たくなるほど／3_潮来の街に暮らすように泊まることができる／4_最大10名まで宿泊可能／5_潮来の嫁入り船を執り行う際は、磯山邸も活用される

水郷旧家磯山邸は、潮来市に寄贈された空き家の館を、一棟そのまま使えるように改修して作られた。漆喰の壁、天井の太い梁、広々とした畳の部屋といった古民家ならではの要素や、随所に施された職人の技をしっかりと残しつつ、水回りを清潔に使えるようリノベーション。潮来と都内とのア

クセスの良さもあってか、宿泊するお客様は、東京や神奈川、埼玉から来る方も多そう。

屋敷まるごと一棟を、 市民と行政でリノベーション

廃屋から生まれ変わったきっかけは、潮来市の職員による大掃除。埃だらけの中に佇む神棚や床の間、建具や梁に感

動し「この場所をみんなに見せたい」と職員が強く思ったところから、市民の意見を取り入れながらのリノベーションが始動。交付金も活用しながら、建物の耐震補強やPRも行った。

そんな経緯もあり、5月下旬から行われる水郷潮来あやめまつりや、8月に行われる潮来祇園祭禮など地域のイベントと

も連携。

和モダンな空間でゆっくりお茶を楽しめる甘味処の営業があるほか、時間貸しのレンタルスペースとしても運用中。潮来の新たな観光と交流の拠点となっている水郷旧家磯山邸。水郷潮来あやめ園や商店街など、街に点在する要素をつないでいく役割も期待されている。




石岡市  MAP 14

ゲストハウスjicca

築50年の古民家を、クラウドファンディングを活用しながらゲストハウスとして開業。10名まで宿泊可能で、一棟貸切での合宿や宴会利用もある。



桜川市  MAP 15


農家民宿iimura

オーナーの生家である築80年の古民家を改装し、農家民宿として運営。1日一組限定の宿で、書院造の客室に泊まりながら日本家屋の暮らしを満喫できる。

県西地域

01 結城市
御料理屋kokyu.

〒307-0001 茨城県結城市大字結城1085
tel | 0296-48-8388
定休日 | 月曜日・第1第3火曜日(予約制)
http://kokyu.in



11 結城市
Coworking & Café yuinowa

〒307-0001 茨城県結城市大字結城183
tel | 0296-47-5680
定休日 | 日曜日・第1月曜日
http://yuinowa.jp



12 古河市
古河のお休み処 坂長

〒306-0033 茨城県古河市中央町3-1-39
tel | 0280-22-2781
定休日 | 年末年始
http://sakacho.com



15 桜川市
農家民宿iimura

〒309-1452 茨城県桜川市加茂部289-1
tel | 0296-76-0924
定休日 | 不定休
https://farm-inn.wixsite.com/iimura



県北地域

03 日立市
Cafe.Cream

〒316-0013 茨城県日立市千石町1-11-21
tel | 0294-51-4729
定休日 | 日曜日・不定休
https://www.facebook.com/cafecreamquiche2016



07 大子町
大子漆八溝塗 器而庵

〒319-3526 茨城県久慈郡大子町大子624
tel | 0295-72-2775
定休日 | 火曜日～金曜日
http://www.tsujitohru.jp/yamizonurikijian



県央地域

02 水戸市
ノラズ・カフェ

〒310-0034 茨城県水戸市緑町1-2-3
tel | 029-239-3566
定休日 | 不定休

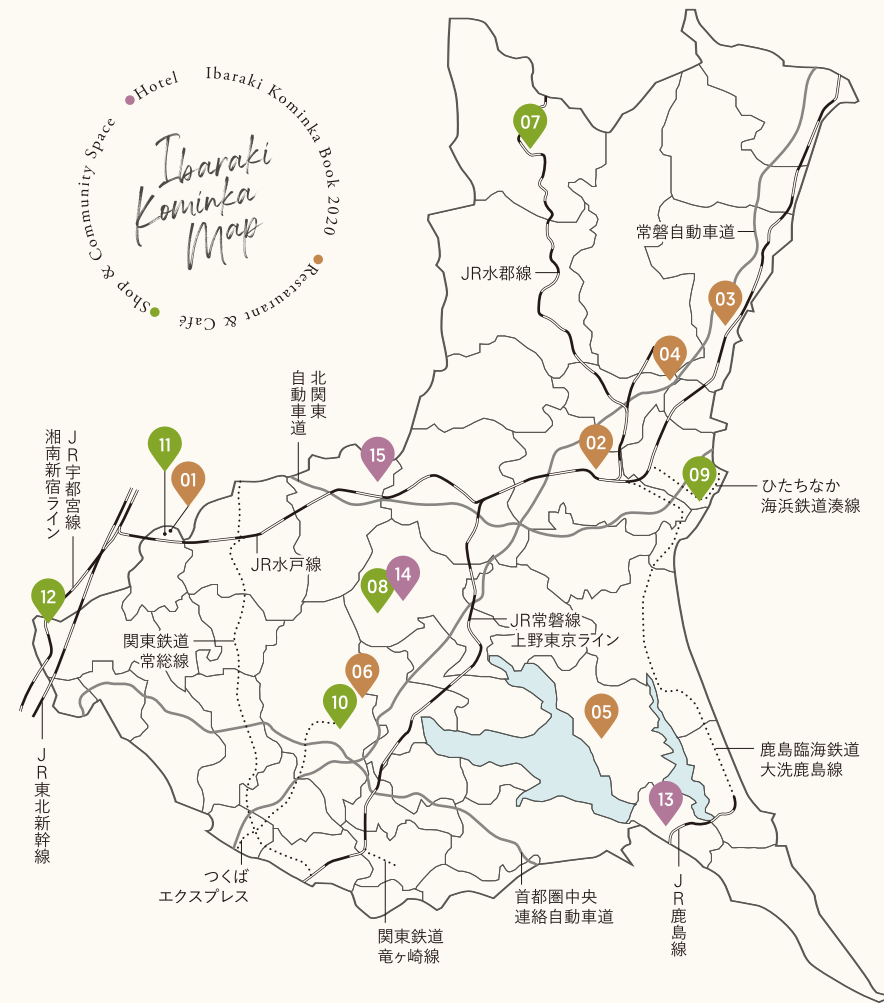
04 那珂市
元屋敷

〒311-0101 茨城県那珂市本米崎2014
tel | 029-295-8718
定休日 | 土曜日～火曜日(予約制)
http://www.shokushinen.co.jp



09 ひたちなか市
布笑布


〒311-1214 茨城県ひたちなか市和田町1丁目3-3
tel | 029-262-3006
定休日 | 日曜日・月曜日(予約制)



県南地域

06 つくば市
藤右工門栄

〒305-0018 茨城県つくば市金田38-1
tel | 029-857-4020
定休日 | 月曜日
https://touemon.com



08 石岡市
ブックカフェえんじゅ

〒315-0153 茨城県石岡市上青柳78
tel | 080-9295-4893
営業日 | 木曜日・第2第4土曜日
https://www.facebook.com/enzyuan



10 つくば市
Shingoster LIVING

〒305-0034 茨城県つくば市小野崎448-1
tel | 029-859-5127
定休日 | 火曜日
https://shingoster.com



14 石岡市
ゲストハウスjicca

〒315-0135 茨城県石岡市加生野392-1
tel | 070-3522-8310
定休日 | 不定休
http://jicca-gh.com



鹿行地域

05 行方市
八甲城

〒311-3801 茨城県行方市行方1343
tel | 090-3900-0946
定休日 | 不定休(予約制)

13 潮来市
水郷旧家磯山邸

〒311-2424 茨城県潮来市潮来595
tel | 0299-94-2800
定休日 | 不定休(予約制)
https://itako-isoyamatei.com



古くから地域全体で大切に
受け継がれている古民家。
日本の原風景を今に残す
里山風景が多く存在する
茨城県の貴重な地域資源です。

いま、多種多様な活用・再生により
新たな魅力が生まれています。
ぜひ足を運び、本県ならではの
「古民家とともに生きる、暮らし」を
感じてみてください。

